

令和5年度 事業計画書

[北方コンソーシアム(北方自然教育園)]

1. 事業方針

「北方コンソーシアムによる安定的かつ持続可能な施設運営」

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会(以下、活動協会)と特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザイン(以下、NPD)とともにコンソーシアム協定を結び、「北方コンソーシアム」という新たな体制で令和5年度より指定管理施設の管理運営が開始となる。北方自然教育園は札幌市の野外教育施設の一つとして、市内の教育機関を中心に自然体験活動の機会を、安定的に提供することを第一義とし、同じ目的のもとで相互に連携を図り、当財団の管理運営実績や健全運営のノウハウ、NPDの持つ農業に関する知識と経験、農業体験や自然体験への指導ノウハウ等を十分に活用して課題解決を促進し、安定的かつ持続可能な施設運営につなげていく。

体験農場の実施校数は増加傾向ではあるが、学校カリキュラム変更に伴い、遠方からの体験農場参加希望校が減少傾向にあるとともに、参加校の施設利用時間の短縮が進んでいる。学校教育のサポート施設として、直接体験の大切さを伝えるとともに、限られた時間の中で効果的な学びや体験ができるよう学校補助教材の開発、学校等の事前事後学習に活用できるよう水田や畑作、果樹の生育状況をブログやSNSを活用して発信し、理解と学びを深める機会を支援します。また、教材用生物においても配布に留まらず、各学校において有効な教材となるよう所管局と連携し、事後支援できるツール作成を進めていく。

市民が利用したく、利用しやすい施設を目指し、施設の認知向上を図るため効果的なリーフレットを作成するとともに、日常活用できるプログラムの充実を図り、より多くの市民が自然とふれあい、関心や学びを深められる機会を提供する。

2. 重点目標

(1) 地域活動等事業

- ① 市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供
- ② 地域住民との関係性を深めるための地域活動への参加

(2) 施設運営等事業

- ① 小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化
- ② 教材用生物の幼保小中学校への安定的な供給と事後支援の充実
- ③ SNS、HPを活用した小中学校に対する事前および事後学習の充実
- ④ 利用者のターゲットごとに必要とする情報を整理、検証し、利用促進につながるリーフレットを作成する
- ⑤ 利用者が活用できる日常活動プログラムの充実を図る

3. 事業内容

- ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業
- イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務
- ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務
- エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務
- オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務
- カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援
- キ. 自然体験や展示に関する相談業務
- ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

4.事業実施計画書(施設運営等事業)

ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数
1	体験農場 (継続)	市立幼稚園、学校の学習指導要領と関連付けながら、農業体験を提供する。 自然環境と作物との関係を考え、仲間と共通体験を行う機会を提供する。また、水田の体験学習については田植えから脱穀、精米までの一連の流れを理解し、食べ物の大切さを考える機会を提供する。 [対象]市内幼児から中学校3年生 [参加人数]40校 2,000名	5月～11月

イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務

2	教材用生物 の提供 (継続)	市立幼稚園・学校等に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付することにより昆虫や植物の生態を理解する機会を提供する。 [対象]市内幼保小中学校 220校程度	配布 6月 1回
---	----------------------	---	----------

ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務

3	広報業務 (継続)	リーフレットの作成、ホームページ等により貸室利用および団体指導プログラム等の周知を図る。 SNS等を活用した広報により自然および施設情報の発信を行う。	通年・随時
---	--------------	--	-------

エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務

4	<p>ようこそ 北方自然教育園 (新規)</p>	<p>子どもに関わる市民および団体などと連携しながら、水田、畑作、果樹の収穫体験を通して、自然環境や食について考え、野外活動での集団行動と協力関係を増進させる機会を提供する。</p> <p>【対象】子どもに関わる市民および団体等</p> <p>【参加人数】引率を含めて 30 名以内</p>	<p>6 月、11 月 計 5 回</p>
5	<p>北方フルーツ ファーム (継続)</p>	<p>果樹(ナシ)の摘果や袋掛けなど果樹農家体験事業をと おして北海道の食文化や食育に対する理解と関心を 深める機会とする。</p> <p>[対象]小学生以上の児童を含む家族</p> <p>[参加人数]10 組程度</p> <p>(6 月・8 月全2日間、土曜コース、日曜コース各 5 組ま で)</p>	<p>6 月・10 月 全 2 日間×2 回</p>
6	<p>自然体験工 作会(新規)</p>	<p>自然素材を活用した工作を通じて、身近な自然に目を 向けることや創意工夫することで発想力を磨く機会を提 供する。</p> <p>[対象]小学生以上</p> <p>[参加人数]定員なし</p>	<p>通年・随時</p>
7	<p>北方ファーム (継続)</p>	<p>作物の農業体験事業をとおして、野菜の生育状況の 観察や収穫を行い、北海道の食文化や教育に対する 理解と関心を深める機会とする。</p> <p>[対象]小学生以上の児童を含む家族</p> <p>[参加人数]10 組程度</p> <p>(5 月・7 月・8 月全 3 日間、土曜コース、日曜コース 各 5 組まで)</p>	<p>5 月・7 月・8 月 3 日間×2 回</p>

8	<p>自然素材の クリスマスリース作り (継続)</p>	<p>季節や催事に合わせて、白川地域や北方自然教育園内で採取された自然素材を活用し、クリスマスリースを製作する。 [対象]小学生以上の児童を含む家族 [参加人数]5組程度</p>	11月1回
9	<p>新年しめ飾りづくり (継続)</p>	<p>自然素材を活用したものづくり体験事業をとおして、創作活動の楽しさや工夫する力を養うとともに、伝統工芸や風習など日本古来からの文化に触れる機会とする。 [対象]小学生以上の児童を含む家族 [参加人数]12組程度</p>	12月1回
10	<p>家族でわくわく貝化石観察会 (継続)</p>	<p>豊平川の河川敷にて貝化石の観察を実施して、家族で周辺の地層や札幌の地形の成り立ちについて学習し、自然について考える機会を提供する。 [対象]小学生以上の児童を含む家族 [参加人数]5組程度</p>	7月1回
11	<p>北方スノーシュー 野鳥観察 & 自然散策 (継続)</p>	<p>園内裏山を観察コースとした体験機会の提供を行うことにより、冬に自然に親しむ機会を提供する。指定日にはガイド付で実施する(定員8名) [対象]小学生以上～大人(小学生以下は保護者同伴)</p>	1月、2月、3月 随時

オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務

12	広報業務 (継続)	リーフレットの作成、ホームページ等により貸室利用および 団体指導プログラム等の周知を図る。 SNS 等を活用した広報により自然および施設情報の発信 を行う。	通年・随時
----	--------------	---	-------

カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援

13	市民ボラ ンティア 事業 (継続)	市民ボランティアの人材育成事業の実施。 園内環境整備や主催事業サポート、展示等活動を通じて 市民の自主的な活動を支援し自己実現の機会を提供す る。	通年
14	教育機関 支援事業 (継続)	北方自然教育園のフィールドを高等教育機関、社会教育 等団体の自然学習・調査研究活動等に活用し、積極的な 学習支援および指導者養成を行う。また、みなみの杜支 援高等学校の「協育活動」と連携することにより学習支援 を行う。	通年・随時

キ. 自然体験や展示に関する相談業務

15	相談業務 (継続)	自然体験や展示に関する各種相談に対応する。 専門的な内容に関しては、道・市・大学等の博物館、科学 館等専門機関と連携し対応する。	通年・随時
----	--------------	--	-------

ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

16	他施設・団体連携事業 (継続)	施設運営の趣旨を理解し、賛同する地域・企業・組織・他施設と連携し、各種事業を実施することにより野外教育施設の可能性を拡大する。	通年・随時
17	教職員研修事業 (継続)	所管部局と連携し、主に新任小中学校教員を対象に教職員研修を実施する。 体験農園および飼育栽培体験等について研修学習の機会を提供することにより各事業への理解を深める機会を提供する。 〔対象〕市立小中学校教職員 〔参加人数〕30人程度	7月1回
18	ロビー展示 (継続)	学習館内での展示活動を通じて来館者の増加を図るとともに、環境保全および在来種の保護に係る啓発や情報発信に努める。 また、近隣の教育機関などと連携して展示方法の工夫やハンズオン展示を導入するなどして、より学習効果のある展示を模索する。 また収蔵庫に保管してある展示物を活用し、市立幼稚園・学校等へ出張展示を行うことで、自然観察の機会を創出するとともに、施設の理解を促す。	通年・随時
19	大人の学び舎 「山野草講座」 (継続)	大人を対象とした自然教室で講師を招いて、山野草などの講義と山野草や山菜などの調査を行い、自然環境の学びの機会とする。 〔対象〕大人 〔参加人数〕10名程度	5月1回
20	社会的課題解決事業 (継続)	自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施。 児童会館や若者支援施設等と連携して課題解決を目指す。	通年

21	使用承認等に関する業務 (継続)	施設利用に係る受付および使用承認を行う。 ・貸室(工作室・多目的室)の利用受付 ・野外活動物品の貸出 ・学習館ロビー展示事業に関する受付	通年・随時
22	調査・研究 (継続)	野外教育施設の可能性を拡大するための調査を行う。 また、「学びの農園」運営等を中心として将来を見据えた学習機会の創出のための研究を行う。	通年・随時

6.事業実施計画書(地域活動等事業)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数
23	自然環境 関連 セミナー (継続)	北方自然教育園のフィールドや環境に関する内容をテーマとし、広く自然と人との共生を伝え考える機会を提供する。 【対象】大人 【参加人数】15名程度	3月 1回